

# 教育センターだより



南砺市教育センター



「やさしさ」を探してみると…



南砺市教育センター 所長 城岸 毅

「クイズやさしいね」という番組をご存じでしょうか？火曜日の夜の番組ですが、私は偶然見てから、ファンになりました。

実際どんなクイズが出題されているのか興味をもっていただきたいので、四つほど紹介します。皆さんも「やさしい気持ち」で考えてみてください。

- ① スーパーマーケットで、パン売り場がレジの近くにあるやさしい理由とは？
- ② 温泉旅館の部屋に、お菓子が用意してあるやさしい理由とは？
- ③ 三日月をつかみたい子供のために、母親がとったやさしい行動とは？
- ④ ケーキ屋さんに行ったとき、一人の小学生が母親のために、ケーキを買おうとしていました。ところが、10円足りないみたいでした。そこに現れた高校生が、なぜか小学生の横でお金を落としました。そのやさしい理由とは？

それでは、解答です。

① の答えは「買い物をしている最中にパンがつぶれないようにするため」です。確かに、レジの近くにパン売り場があれば、パンを買うのは最後になるので、他の商品の下敷きにならないというわけです。

② の答えは「温泉で具合が悪くならないように」です。旅行ということで、長時間バスや電車で揺られたお客は、温泉で癒やされたいはずですが、空腹のまま温泉に入ると、貧血を起こしたり気分が悪くなったりすることがあり、それを防ぐため、部屋に甘いお菓子が置いてあるのです。げすな私などは、お客

にお土産を買わせる作戦だろうくらいに考えていました。

③ の答えは「バケツの水に三日月を映し、つかませてくれた」です。小林一茶の句に「名月をとってくれろと泣く子かな」というのがありますが、一茶も桶に水を満たしていたかもしれません。

④ の答えは「お礼として一割あげるため」です。足りない分を出してあげるのは、たやすいことですが、それでは小学生に受け取る理由がありません。拾ってくれたお礼に渡されたのであれば、受け取るだけの理由が小学生に生じます。

このように、これまでのクイズ番組とはひと味違い、「やさしい気持ち」があれば、答えが浮かぶというところに惹かれます。知識の量が問われるクイズ番組とは違って、選ばれた正解がほっこりした気持ちにさせます。

学校訪問で見せていただいた授業の中に、「ルールを守って、仲良く『わくわくゲーム』をしよう。」という学習がありました。友達のよいところを言葉にして、ボールを投げ合うゲームでしたが、やさしい言葉とともに、受けやすい高さに投げようとしている姿が印象的でした。

子供たちの身の回りには、きっといろいろな「やさしさ」があふれているはずです。それらに気付く感性が育てられれば、「ありがとう」のことばが自然に増えていくような気がします。



# 夏季休業中の研修会より

たくさんの先生方に参加いただき、ありがとうございました。

## 南砺市教育センター研修会

教育セミナー「ICT活用研修」7月26日(火) 参加者48名 会場：いのくち椿館  
「深い学び、対話的な学び、主体的な学びとICT活用」 講師：放送大学 教授 中川 一史 先生



中川先生より、次期指導要領が目指す「3つの学びの過程」実現という視点でICTの有効的活用について講演いただきました。途中、「陥りがちな授業」のDVDを見る場面では、受講者が考え、近くの人と話をし、意見を紹介し合う場面もあり、問題意識をもちながら受講することができました。さらに、ICT機器活用の際には、説明、納得の4要素『相手意識、目的意識、内容、方法』を考えること、「脱・原稿」のプレゼンを目指すこと、ICTと非ICTの使い分け、等「ICT機器を活用する上で気を付けること、大切にしたいこと」について学ばせていただきました。

中川先生ご自身が、映像を取り入れながら、また、電子黒板やタブレットの活用等のICT機器を活用したいろいろな事例を盛り込みながらテンポよく講演を進められたので、まさにICT機器が効果的に活用された研修となりました。

ふるさと学習研修会「歴史文化施設めぐり【福野地域】」 8月8日(月) 参加者11名

福野地域の「安居寺」「巖浄閣」「ヘリオス」「フローラルパーク」を見学しました。安居寺では、住職の大谷龍寶さんに門の外から本堂の中の貴重な文化財まで、詳しく説明していただきました。巖浄閣では、同窓会事務局長の竹下宏子さんに、移築のいきさつや歴史、建物の特徴などについてご説明いただきました。ヘリオスでは、館長の西部穰さんより、施設内外の曲線を生かしたデザインや劇場の「ヘリオス」の名前の由来、館内に彫刻や絵画などの美術品が展示されていること等を教えていただきました。また、フローラルパークでは、園長の大西毅彦さんより、施設や電照菊について、また、スプレー菊が日々研究されており世界的にも認められていること、屋外には4つのゾーンがあり季節を問わず楽しむことができること等説明していただきました。いずれも存在は知っていても、実際にゆっくりと見学したりその歴史やいわれについて見聞したりしたことのある受講者はなく、「文化的・歴史的価値や南砺市・福野地域の魅力を実感することができた。」と好評でした。



## 砺波地区センター協業研修会

資質能力向上研修会 8月23日(火) 参加者35名 会場：井波庁舎  
「コミュニケーションの極意」 講師：(株)プラチナコンシェルジュ 高畑 勇 先生



サブテーマを「信頼感を与えるコミュニケーションの技術を、体験を通して習得する」として、講義と演習を組み合わせでご指導いただきました。講義の合間にグループワークやロールプレイを取り入れながら、よりよいコミュニケーションの在り方について、受講者が実感を伴って理解できる研修となりました。受講者からは、「関わり方等人間としての魅力が磨かれるきっかけになるような研修だった。」「実感しながら学ぶように工夫されていたのがよかった。」「コミュニケーション、特に挨拶や表情といった基本的なことの大切さを学ぶことができた。」など「参加してよかった。」という感想が多くあり、研修で学んだことを今後生かしていただけないのではないかと感じました。



## 南砺市学校教育研究大会

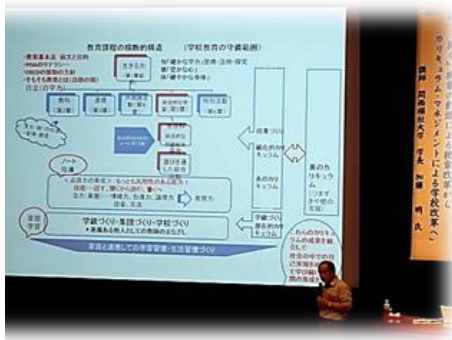
8月29日(月)、井波総合文化センターにおいて、平成28年度南砺市学校教育研究大会を開催しました。今年度は、平成28年3月に上越教育大学大学院修士課程を修了された南砺市立城端中学校の金谷諭教諭の研修報告と関西福祉大学学長、加藤明先生のご講演をいただきました。

金谷先生は、合唱コンクールの前後において質問紙調査を実施することを中心に、学級集団づくりにおける合唱コンクールの有効性や学年段階に応じた有効な支援について紹介されました。また、様々な行事の前後で児童生徒に対して質問紙調査を実施することで、学級や個々の子供たちの実態が把握でき、それをもとに行事に向けて個に応じた支援を試みたり事後指導に生かしたりすることの重要性を教えてくださいました。

関西福祉大学学長加藤明先生からは、「『開く』授業の創造による授業改革からカリキュラム・マネジメントによる学校改革へ」と題してご講演をいただきました。小中連携につながる指導の在り方や「アクティブラーニング」が目指すもの、自力解決の過程や形成的評価の重要性など、次期指導要領改訂を前に、今、学校において求められていることについて具体的に分かりやすく話していただきました。関西の方らしい和やかな雰囲気の中に、教育に対する強い情熱を感じる講演でした。



「『丁寧に子供を見る』『学校は賢くなり自信をつけさせるところ』『総評ではめてはいけない』など日ごろ分かっていることでも、今回のように実践をもとに伝えていただくと分かりやすく、自分を振り返り日ごろの指導を反省できる貴重な場となった。」「『学校は賢くなり自信をつけさせるところ』という言葉が心に残った。教師の言葉一つ一つの大切さも改めて考えることができた。子供に対する言葉は、他の子供も見て、聞いていることを忘れてはいけないと思った。」「評価、家庭学習、板書、ノートの使い方については、さっそく2学期の指導に生かしたい。」などという感想を、多数いただきました。



## 研修会のお知らせ

詳細は11月中に各学校へ案内いたします。多数のご参加をお待ちしています。

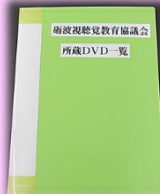


### 【体育指導法(スキー)研修会】

日時：平成29年1月5日(木) 午後1時30分～  
 場所：イオックス・アローザスキー場  
 講師：公認スキー指導員(教員〇B)

## ご案内

砺波視聴覚協議会では、今年度新たに購入した新作DVD52本を追加し、所蔵する全てのDVDを画像で紹介するファイルを作成しました。10月中に各校に配付予定です。どうぞご活用ください。



### 【内容】

- 借用手順
- 借用願用紙
- DVD一覧
- \* ジャンル別に分類してあります。



# 第12回南砺市小・中学生科学展覧会

9月17日(土)、18日(日)の2日間、井波総合文化センターにおいて第12回南砺市小・中学生科学展覧会を開催しました。市内の小学校より80点、中学校より31点が出品されました。今年度も、身近な生き物や自然、環境等をテーマとして研究する作品、「〇〇の研究パート3」等数年にわたり継続して研究している作品が多く見られました。



授賞式の際に、審査委員長の城端中、溝口校長先生より「研究にかかる時間や思い、見せ方の工夫に感心した。今後は、うまくいったことだけでなく失敗したことの記録やその失敗を生かした研究も大切にして進めてほしい。」との講評をいただきました。また、来場者の皆さんは、子供らしい着眼点、観察や実験の観点、図や写真、グラフを取り入れるなど、まとめ方が工夫されていることに感心しながら見ていかれました。

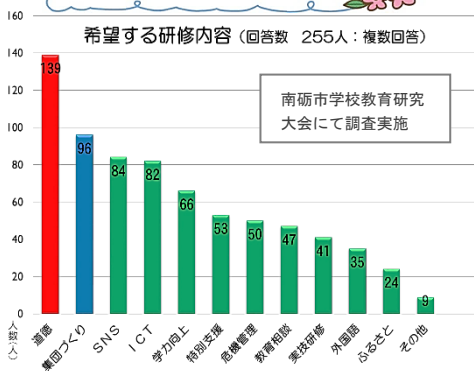
審査の結果、以下の作品が優秀賞に選ばれ、内5点が10月21日(金)～24日(月)に富山市の科学博物館で行われる県科学展覧会に出品されます。



作 品 名	学校名	年	名 前	県出品
スーパーボールオリンピック! 金メダルはどれ!?	井口小	2	柳田 起澄	○
イボウキクサっておもしろい!!	城端小	2	今井 環	
ゴム動力ヘリコプターを作ろう	福光中部小	3	大島 健太郎	○
アリの研究パート3	井波小	4	横山 珀斗	
蝉の研究6 怪しいきのこ セミタケ 6年間の研究から環境について考える	井波小	6	今藤 千尋	
きのこの研究 パート3	福野小	6	竹内 玲奈	○
界面活性剤のちから	福野中	1	橘 あぐり	
アルギット肥料・有機肥料・化学肥料で育てたトマトの違い	福野中	2	安達 あん珠	
風力発電がしやすい風車を調べてみよう!	吉江中	3	中島 光優	○
パンの発酵についての研究	福野中	3 1	鶴居 遥花 鶴居 成美	○

## おわりに

希望する研修内容 (回答数 255人: 複数回答)



教育センター主催の夏季研修会に多数参加いただき、ありがとうございました。どの研修会においても、参加された先生方が、真剣に講義を聴いたり意欲的に演習に取り組んだりしてくださいました。

左のグラフは、南砺市学校教育研究大会にてご協力いただいた次年度の研修希望のアンケート結果です。先生方の希望や現場のニーズ、学校現場に新たに求められていること等を考えるとともに、先生方の負担感を少しでも軽減できるように配慮しながら次年度の計画を進めていきたいと思えます。

さて、先日、市内の学校を訪問させていただいたときに、校内で出会った子に話しかけると、部活動や「東京オリンピック」の話になりました。リオオリンピックの感動を胸に、夢を抱いている子供たちがいることを嬉しく思いました。ノーベル賞の話題も続いています。子供たちが夢を膨らませたいけるような小さな感動を積み重ねていけるよう応援していきたいものです。(杉下 記)